

ICTとヘルスデータ連携を活用した栄養指導促進事業

アルフレッサ株式会社・沢井製薬株式会社・株式会社インテグリティ・ヘルスケア

提案の背景

つくばスーパーサイエンスシティ構想のテーマの1つに「生活・医療の情報をもとに健康な生活」というテーマが掲げられており、生活習慣病予防や罹患者の二次予防は、つくば市の喫緊の課題となっている。その解決方法として、栄養指導は重要な位置を占めているが、栄養指導の体制を持つ「かかりつけ医」は少なく、実施頻度も低いと思われる。PHRデータ連携により上記課題を解決し、さらに他分野と連動したサービス提供の実現が望まれる。

トライアル概要

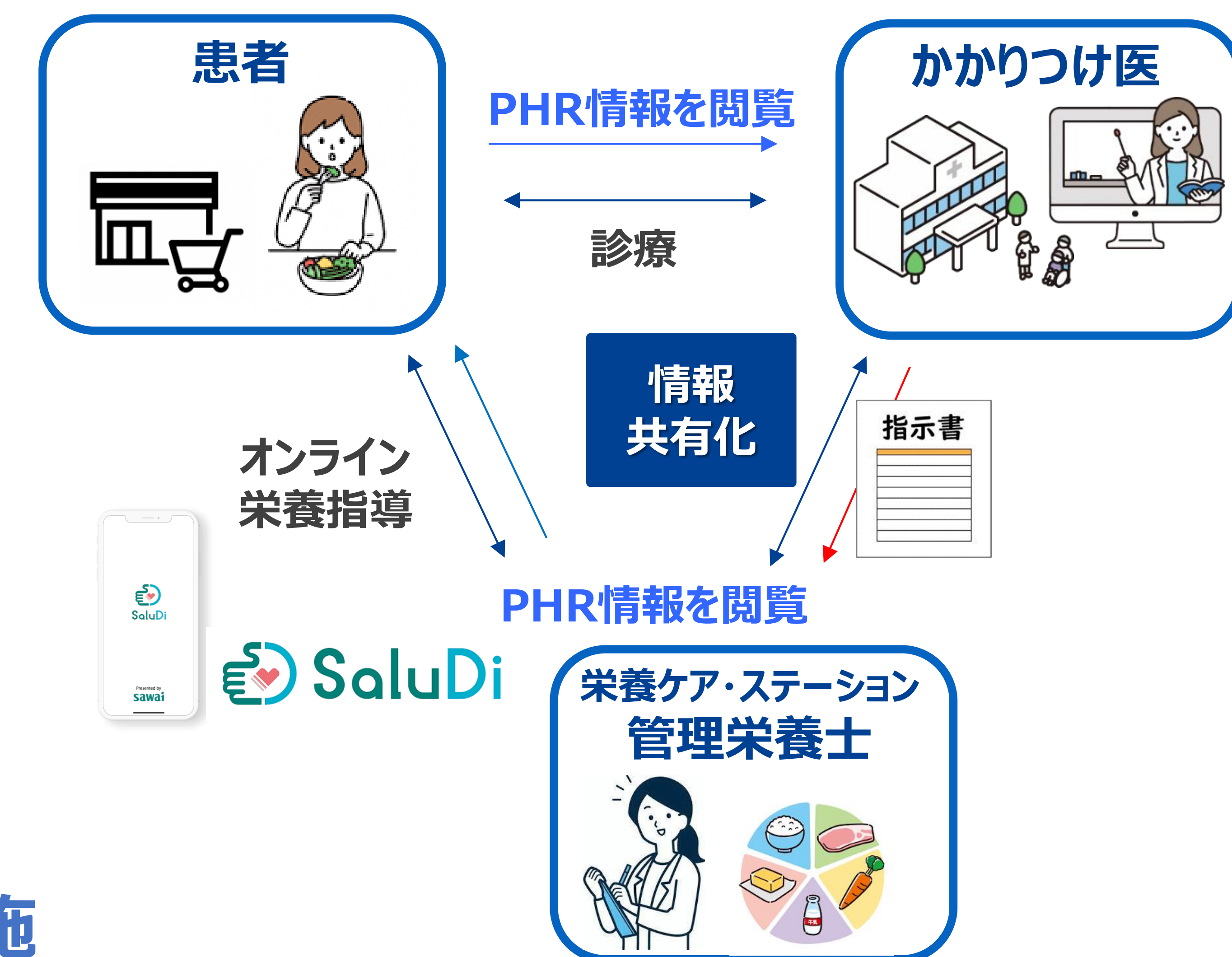
【トライアル概要】

かかりつけ医と茨城県が設置・運営する栄養ケア・ステーションの管理栄養士が既往歴のある患者に対して、PHRアプリケーションを活用したオンライン栄養指導を行う。PHRアプリケーションにより、患者の食事記録・検査値・日常生活記録等を共有することで、初回からのオンライン栄養指導実施及び促進できることに関してトライアルしたい。

【トライアル計画】

- ・協力医療機関（医療機関数、生活習慣病対象患者数）：1医療機関、モニター患者5名
- ・栄養ケア・ステーション（管理栄養士数）：3名
- ・5名のモニター患者に対して、PHRアプリケーションを用いたオンライン栄養指導を実施

検証期間4ヵ月予定：モニター患者の症状次第でオンライン栄養指導を1～3回実施



期待される効果・実現する未来社会

【期待される効果】

オンライン栄養指導の促進と共に、複数医療従事者が情報共有し伴走することで、PHRの有効活用・普及につながることを実証し、横展開につなげたい。

【実現する未来社会】

将来的には、データ連携基盤を介した他サービスとの連携を実現したい。→（例）食事記録から献立メニューへのレコメンド、献立メニューから必要な食材を入手できるECサイト、注文した食材を搬送する配送業者と連携できる配送データ連携等。